

# 秋田応用生命科学研究会

## 第 38 回 講演会

### ◎開催日時

令和 7 年 11 月 7 日（金） 13：00 -

### ◎会場

秋田県総合食品研究センター 研修室（1）

地図 [http://www.arif.pref.akita.jp/01\\_annai.html](http://www.arif.pref.akita.jp/01_annai.html)

※所内に自動販売機がありませんので、センターにお越しの場合はご注意ください。

### ◎参加費

無料

### ◎連絡先

秋田応用生命科学研究会 事務局 （総合食品研究センター内）

E-mail [appl-mic@arif.pref.akita.jp](mailto:appl-mic@arif.pref.akita.jp)

TEL 018-888-2000 FAX 018-888-2008

URL <https://appl-mic.wixsite.com/appl-mic>

担当 横田早希、松井ふゆみ、佐々木玲、樋渡一之

### ★交流会

会場 カーサ・ブランジーノ（19:00-）

住所 秋田県秋田市中通 4-17-30 フォレストワンビル 1F

TEL 018-853-8900

会費 5,000 円（事前申し込みの学生 3,000 円）

※会費は講演会受付にて当日に申し受けます。

2 日前までの申し込みをお願いします。



講演会・交流会  
参加申込フォーム



## ◎プログラム

講演時間：特別講演 30 分（討論含む）  
一般講演 15 分（発表 12 分、討論 3 分）

13:00-13:05 会長挨拶 秋田応用生命科学研究会会長 小林 正之（秋田県大院・生物資源）

### 【一般講演】

13:05-13:20 糖尿病Ⅲ度熱傷モデルマウスに対する人工羊膜の創傷治癒効果

○荒井健一  
（秋田県立大学）

13:20-13:35 褐色脂肪細胞を活性化させる化合物の探索

○露木詢子、藤原誠樹、安健博、小泉幸央、松村欣宏  
（秋田大学医学部）

13:35-13:50 カプセル状タンパク質 Encapsulin と内包鉄結合タンパク質 Ferritin-like protein を  
利用した金属ナノ粒子の作成

○貝塚遥夏、井上航希、松村洋寿、尾高雅文  
（秋田大院理工）

13:50-14:05 中性子結晶構造解析を用いた抗リウマチ薬メトトレキサートとマクロファージ遊走  
阻止の相互作用解析

○荒木隼施<sup>1</sup>、江澤理徳<sup>1</sup>、刈屋佑美<sup>2</sup>、平野優<sup>3</sup>、日下勝弘<sup>4</sup>、玉田太郎<sup>3</sup>、  
尾高雅文<sup>1</sup>、松村洋寿<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>秋田大院理工、<sup>2</sup>秋田大産連、<sup>3</sup>量研機構量子生命、<sup>4</sup>CROSS 中性子産業利用推進センター）

14:05-14:20 高機能バイオハイドロゲルの創成に向けた Carboxysome の外殻タンパク質  
CcmO 集合体の設計開発

○深松郁仁、菊池陽、松村洋寿、尾高雅文  
（秋田大院理工）

14:20-14:30 休憩

### 【特別講演】

14:30-15:00 細胞培養の化学工学～実験から CAE まで～

堀口一樹  
（秋田大学大学院 理工学研究科）

【一般講演】

- 15:00-15:15 食品のウイルス検査における精度管理を目的とした内部標準物質に関する検討  
○斎藤博之<sup>1</sup>、野田衛<sup>2</sup>、上間匡<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup> 秋田県健康環境センター、<sup>2</sup> 日本食品衛生協会、<sup>3</sup> 国立医薬品食品衛生研究所)
- 15:15-15:30 作出効率が劇的に向上する条件を用いたウシ iPS 細胞の樹立  
○池田こころ、藤井美里、小澤ゆか、平岡梨朋、嘉数悠斗、道上雄海、小林正之  
(秋田県大院生物資源)
- 15:30-15:45 卵子・精子への分化能を有するウシ iPS 細胞の樹立を目指したウシ NANOG  
レポーターの応用  
○平岡梨朋、小澤ゆか、渡辺彩、池田こころ、嘉数悠斗、道上雄海、小林正之  
(秋田県大院生物資源)
- 15:45-16:00 創薬及び医療応用に向けた炎症性病変で発現する酸化型マクロファージ遊走阻止  
因子を特異的に認識する核酸アプタマーの開発  
○高橋健心<sup>1</sup>、伊藤和哉<sup>1</sup>、江澤理徳<sup>1,2</sup>、塚越かおり<sup>3</sup>、尾高雅文<sup>1</sup>、  
松村洋寿<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup> 秋田大院理工、<sup>2</sup> 量研機構、<sup>3</sup> 東京理科大学)
- 16:00-16:15 硫化カルボニル新規分解除去法の開発に向けた硫化カルボニル分解酵素内包  
タンパク質ナノカプセルの作成  
○井上航希、松村洋寿、尾高雅文  
(秋田大院理工)
- 16:15-16:20 閉会の挨拶 後藤 猛 (秋田大学)